

- 題材・・・「かかりはっぴょうかいをしよう」
 ねらい・・・かかり活動の様子を、友だちと協力して発表する
 工夫点・・・かかり紹介カードの作成
 準備・・・*紹介カード*メッセージカード

児童の活動

教師の支援と評価()

| | | |
|-------------------------|---|---|
| <p>【事前の活動】 学級活動</p> | <p>みんなに紹介したい係の仕事の様子を表す(紹介カード)</p> <p>仕事のこと、がんばっていることなど発表の練習をする</p> <p>司会準備をする</p> | <ul style="list-style-type: none"> カード作成の仕事分担を話し合い、全員で取り組めるように話す 表し方の工夫や個々の取組を支援する 個々のよさを生かした発表の工夫を支援する(紙芝居・ペープサート・クイズ・劇など) 発表も全員で楽しくできるように話す友だちと楽しく発表の練習ができる 学級の実態に応じた準備をする |
|-------------------------|---|---|

| | |
|---|---|
| <p>【本時の活動】</p> <p>1 はじめのことば 2 めあての確認 3 係発表会 係の紹介</p> <div data-bbox="215 1008 782 1500"> <p>わたしたちはこんなかざりをつくってかざりコーナーにかざりました</p> <p>何かつくってほしいものがあったらいってください</p> <p>みんなから発表からよかったところを伝えたり、メッセージカードに書いたりする</p> <p>これからどんどんつくってね</p> <p>かざりがあるときょうしつがきれいでいいとおもいます</p> </div> <p>4 先生から 5 終わりの言葉</p> | <ul style="list-style-type: none"> 発表する側、聞く側にわけて今日の活動のめあてを伝える プログラム等を黒板に掲示しておいてもよい 練習の成果が発揮できるように、言葉かけをする 友だちとなかよく楽しく発表ができる 係の活動のよいところをどんどん意見としていえるように発表を賞賛する 各係の活動のよいところを見つけることができる 発表の準備、練習、発表会の取組の努力を賞賛する 発表会后係のカードと友だちからのメッセージカードを教室に掲示し、活動への意欲を高める |
|---|---|

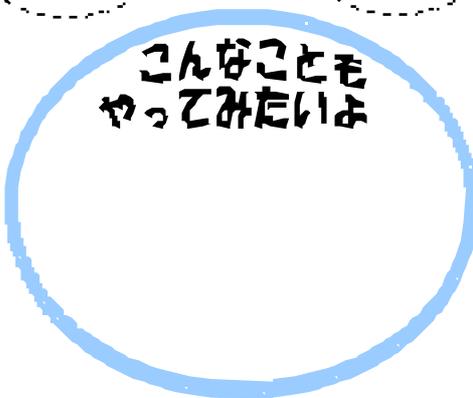
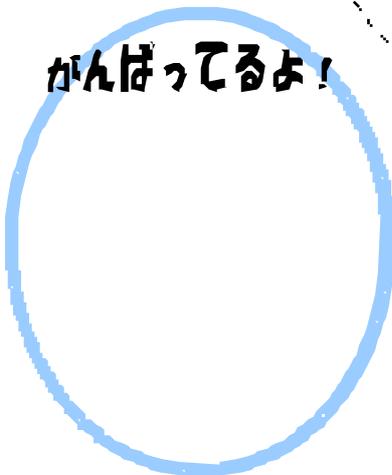
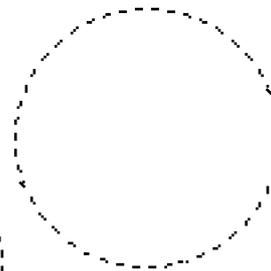
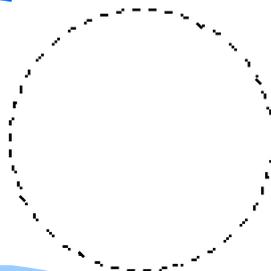
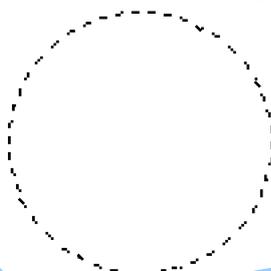
| | | |
|-------------------------------------|---|---|
| <p>【事後の活動】 帰りの会 常時</p> | <p>係ごとにこれからの活動を考え取り組む</p> <p>係の活動のよいところをみつけカードに書く</p> | <p>友だちに認められたことで次の活動への意欲がもてたか</p> <p>学級通信や学級活動コーナーによさを掲示する</p> |
|-------------------------------------|---|---|

留意点

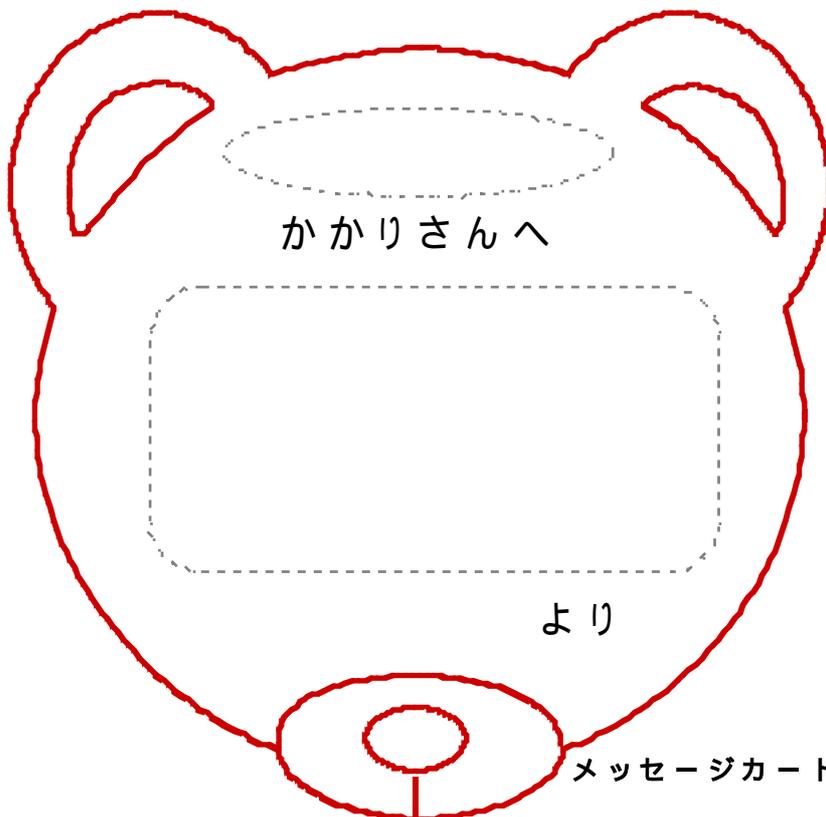
日常生活の中でいちばん身近な係活動について、仲間と仕事内容やがんばっていることを確認しながら、他の友だちに伝える「かかりはっぴょうかい」の準備をする。「かかり」という共通な話題の中での「がんばっていることの確認」、「もっとこんなことががんばろう」という話し合いをしながら、紹介カードを協力して作成する。作成したカードをもとに、みんなに伝えるための発表の準備をする。発表会をする。友だちから「よいところのメッセージ」をもらう。このような一連の活動を「同じかかり」の仲間と体験することで、なかよく助け合って活動する楽しさや喜びを味わうことが期待できる。



なかまは



かかりしょうかいカード



メッセージカード

かかりしょうかいカードは、分担してよ作業が進められるように、台紙に部分を貼っていく形をとるとよいと思います。みんなでつくってみんなで発表する体験を楽しく活動させたものです。

友だちどががんばって発表したことに、かかっている友だちの励ましや、活動への意欲が、次につながると思います。教室の背面等にしょうかいカードを貼り、そのまわりにメッセージカードをはるのもよいです。

題材・・・「思い出カレンダーをつくろう」

ねらい・・・学級の歩みをふり返り、協力してカレンダーづくりに取り組む

工夫点・・・カレンダーづくり

準備・・・*原案作成シート*三大ニュース発表シート

児童の活動

教師の支援と評価

| 【事前の活動】 | |
|---------|--|
| 帰りの会 | 議題の決定 例「思い出カレンダーをつくろう」 |
| 放課後 | 話し合いの準備 提案理由を練り上げる 話し合いのめあて・流れを決める |
| 帰りの会 | 班ごとの話し合いで三大ニュースを考える |

- ・子どもの発意を生かした議題で活動できるようにする
- ・子どもたちの実態に応じ計画委員の活動内容を決め、支援の場面も柔軟に設定する
- ・一人ひとりの考えを大事にした話し合いが進められるよう支援する（P19参照）（原案作成シートP25）
- ・一人ひとりの思いが集まったカレンダーづくりとなるよう配慮する
- ・ニュースを絵に表し発表の際使用する（三大ニュース発表シート）
班での話し合い、発表準備に協力している

| 【本時の活動】 | |
|---|---|
| 1 はじめの言葉 | <ul style="list-style-type: none"> ・議題提案者の思いを全員で共有する ・めあてを確認し見通しをもって活動できるようにする ・みんなの思いが集まった集団決定となるよう、少数意見も大切にし、よりよい決定ができるよう助言する ・形にとらわれず、みんなの大切な思い出を残せるカレンダーとなるような意見が出るように言葉かけをする ・友だちの考えを認め、自分の考えを述べている ・個々の得意な分野を発揮して作成に取り組みめるよう配慮する ・事前に計画委員と役割原案を作成しておく ・自分のよさを生かした役割が考えられる ・話し合いの中でのよい取組を賞賛し、カレンダー完成への期待を話し意欲を高める |
| 2 学級の歌 | |
| 3 役割の紹介 | |
| 4 議題と提案理由の説明 | |
| 5 話し合いのめあての確認 例「みんなの大切な思い出を残そう」 | |
| 6 話し合い (1)班で考えた3大ニュースを発表する (2)3大ニュースをまとめてカレンダーの構成を考える | |
| (3)役割分担をしよう どんな役割をつくるか考える 役割分担をする | |
| 7 決まったことの発表 | |
| 8 先生の話 9 終わりの言葉 | |

| 【事後の活動】 | |
|---------|-----------------|
| 学級活動 | 役割分担ごとのカレンダーの作成 |
| 帰りの会 | 作業の経過報告をする |

- ・活動の途中報告をしよう中で、友だちのがんばりや他の係の協力を認め合い完成を皆で楽しみにできる雰囲気を大事にする
- ・協力して、カレンダーづくりに取り組んでいる

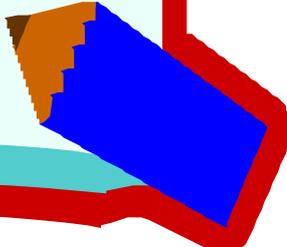
留意点

学年末に実施するとよい活動例である。活動意欲旺盛な中学年では、内容を変えて様々な場面設定で取り組むことができる。3大ニュースを決めるときは、班でその場面にふさわしい絵を描いたものを掲示することで、1年間の思い出の場面をいろいろ振り返り、和やかな雰囲気の中で話し合いを進めることができる。決定の場面はひとりひとりの思いをなるべく生かしながらかめられるよう支援することが大事である。

ぼくの わたしの 考えた 三大ニュース

| | |
|---|----|
| ① | 理由 |
| ② | 理由 |
| ③ | 理由 |

年 組 ()



三大ニュース発表シート

カレンダーの部分



思い出のタイトル

思い出を短い文で.....

思い出の場面を絵で表す.....

作

* 子どもの発意を生かして作成することが一番ですが、工夫して表現することが役割を増やし子どもの活躍場面を増やすことになります。

題材・・・「ハッピー記念日をつくらう」
 ねらい・・・よりよい学級生活を送ろうと、支え合い、助け合って活動する
 工夫点・・・ラベルトーク
 準備・・・ハッピー日記・解決のカギ・記念日コーナー

児童の活動

支援のポイントと評価

| | |
|--|--|
| 【事前の活動】 | |
| 帰りの会 学級の問題点をアンケートに書く アンケート集計 計画委員の話合い準備 アンケート結果を見て個々に考えをまとめておく | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが学級の問題点をどんなところに感じているか把握し、より広い視野で学級生活を見ることができるよう支援する 学級の問題に気付いているか 問題点の内容を把握し人権にかかわる事項に対しては最善の注意をはらう 必要であれば解決策等個々の考えを書くものを用意してもよい |

| | |
|---|---|
| 【本時の活動】 | |
| 1 はじめの言葉 2 議題・提案理由・めあての確認 3 話し合い 班の話合い アンケート結果から学級の問題点について個々に考えたことを出し合い、一番に解決しなければならない問題点を決める 全員の話し合い 班での話し合いの結果を発表する 解決する問題を一つ決める 解決策を班で話し合い出し合う 解決策を一つ一つカード「解決の鍵」に書き、掲示し確認する 自分の取り組む解決策を決めてカード（ハッピー日記）に記入する カードに日々の努力を自己評価する | <ul style="list-style-type: none"> みんなの力で解決できたときにその日を「記念日」とする活動のめあてを確認する 班ごとに決めた問題点に理由を明確にして発表できるよう助言する。 「今解決しなければならない問題かどうか」安易な集団決定にならないよう助言する 教室内に掲示し課題解決をみんなで意識できるように工夫する 解決策を考え発表している 安易な自己決定にならないよう実態に対して何を努力するか個々に助言する 「記念日づくりコーナー」をつくり、意識を高める |

| | |
|--|---|
| 【事後の活動】 | |
| 帰りの会 自己評価後の感想と解決策へのありがとうカードを記入し、掲示する 全員の実践で課題が解決できたことを全員で確認する 「 の記念日」掲示物をつくる | <ul style="list-style-type: none"> 友だちと支え合って活動していることを確認しながら個々へのアドバイスをする 一人一人の活動への努力を賞賛する 解決したことを自分の喜び、みんなの喜びとして受けとめている みんなで解決できたことを賞賛し次の活動へつなげる |

留意点 子どもたちが学級の様々な問題をみんなで解決できた日を「記念日」として、大事にする。これは自主的に学級生活をよくしようとする子どもたちの気持ちの象徴とする。例えば、「忘れ物なしギネス」等では、個々の問題でありながら、その解決に自分だけで悩むのではなく、友だちが考えた解決策を実践して試みることで解決できる喜びを感じたり、友だちに支えられている喜びを実感しながら高め合う子どもの姿が期待できる。支え合い、助け合う姿、友だちとのかわりが伝わってくるような掲示物も効果的であり、「子どもたち一人一人が学級をつくっている」ことを実感させたい。さらに、活動を継続することで、問題の質が基本的な生活習慣に関することからよりよい学級づくりへと変化することも期待できる。

ハッピー日記

問題点

わたしの選んだ
解決のカギ

| 月日 | きょうのふりかえり |
|----|-----------|
| / | |
| / | |
| / | |
| / | |
| / | |
| / | |

解決のカギ

班で考えた
とっておきの解決策

班より

* 解決策は班で考えた他に、個人の考えをどんどん取り入れても意欲的な活動が期待できる。

「記念日づくりコーナー」掲示例

年 組
ハッピー！記念日

月 日
記念日

月 日
記念日

月 日
記念日

問題点

問題点

各班で考えた「解決のカギ」を問題点の周りにはり、その中から個々に解決策を選んで実践に取り組む、解決できたら「ありがとうカード」にメッセージを記入し貼る。全員が解決できたら全員で確認し、「記念日」をつくる